

【正論】

尚美学園大学名誉教授・丸尾直美 大災害、都市「無縁社会」襲わば

2011.5.25 03:06

震災が示した地域社会の健在

今回の東日本大震災で最も激しく被災した東北の農漁村部では、地域社会における互助が凄(すさ)まじいばかりの災害の打撃を和らげてくれた。避難所暮らしを支え合う被災地の住民たちの姿を見て、欧米諸国などでは非常に感銘を受けたという。相互の触れ合いや思いやりで維持される共同体を、コミュニティーと社会学では呼ぶ。そのコミュニティーの崩壊が、欧米では問題になっているからだ。

米国で一昔前、米政治学者のロバート・パットナムが著した「孤独なボウリング(邦題)」がベスト・セラーになった。この本の副題は「米国コミュニティーの崩壊と再生」である。同じ頃、ピーター・ドラッカーも、米国におけるコミュニティーの喪失を嘆いて共感を呼んだ。英国では、市場に委ねる経済分野と、民主的に計画する政治分野に加えて、相互に助け合うコミュニティー分野をも重視する福祉ミックス論が普及した。

日本でも昨年、高齢者の「ダイニング・アローン」(孤独に死んでいく)が社会問題化し、コミュニティーは崩れてしまったのかと思わせるものがあった。地域社会の絆、家族の絆が切れた都市特有の「無縁社会」の登場である。

ところが、今回の震災で、日本にも昔ながらのコミュニティーの健在な姿と、新しいコミュニティーが育ちつつある様を見る思いがした。各地から被災地支援のボランティアたちが駆け付けつけたことは、新しいコミュニティーの形成過程と捉(とら)えられなくもない。

コミュニティーの崩壊は、経済の市場化、IT化、グローバル化に伴う構造的な変化が普遍的になり、合理的、利己的な市場行動が市場外の日常生活でも普通になって、利他的で思いやりある人間の行為は、下心があるのではと疑われるほどになったためである。

市場・IT化で共同体の喪失

市場化はむろん、経済、社会発展のために大いに進めるべきである。が、市場化に押し流されるようにして起きる構造的な変革に伝統的制度や習慣が適応できないことから生ずる、「不完全革命」ともいえる問題をも生む。デンマーク出身の著名社会・政治学者、エスピン・アンデルセンは、女性就業が一般化したのに、伝統的制度や慣習ゆえに子育てと女性就業との両立型にならないことから惹起(じゃっき)される出生率の低下といった現象を「不完全革命」と名付けた。

それに倣(なら)っていえば、構造的変化への制度・政策、習慣などの不適應という「不完全革命」が、日本経済挫折の一因にもなっているように思える。古いコミュニティーが失われ、後の空白を埋めるべき新しいコミュニティーが企業、産業の中に生まれていないという意味の「不完全革命」である。

そうした中で日本的経営の優位性も損なわれていった。労使の信頼、労使協議の日常化、「終身雇用」保障、企業内教育などを基盤とした日本的経営の長所は市場化や国際化で薄れていき、代わり得る制度や慣行も育っていない。

人的資源面でいえば、日本的経営が世界的に注目された頃の日本の企業は、労使、従業員相互の信頼と協力に下支えされる一種のサラリーマン・コミュニティーとなっており、技術と熟練が職場で先輩から後輩へと自動的に伝授されていくという長所を持っていた。今や、そうした伝統はすたれつつあり、それに代わる新たな人材育成方式も台頭してきていない。

1990年代初めには、日本独自の株式持ち合い、護送船団方式で世界の金融機関の上位を独占していた日本の金融機関も、市場化・国際化の荒波にもまれて、国際金融市場で劣勢に転じ、古い方式に代わるべき金融

の国際市場化とIT活用の国際投資では後れを取っている。終身雇用が普通で、暗黙の雇用保障も存在していた企業でも今や、労働市場の規制緩和に伴って非正規労働者が3分の1を占めるようになり、労使の日常的な協議も信頼関係も弱まった。

新しいコミュニティの構築を

経済分野ばかりではない。国際調査によると、日本は今や、世界でも最も隣近所との付き合いが少なく、職場への不満を持つ者が多い国であり、政府に対する信頼が最も欠けている国でもある。コミュニティが喪失した都会を、今回の巨大地震・津波のような大規模な自然災害が襲ったらどうなるか、と想像するだに恐ろしい。

高度成長期の日本人は、目標を持ち、目標の実現に向けてひた走り、それが奇跡と評された日本の経済発展を支えてきた。バブル経済がはじけた後の日本人には、そんな緊張の糸が切れたように、目標も目標実現に向けた協力も努力も見られなくなった観がある。

しかし、今回の震災を機に何かが変わりつつある。「頑張ろう」という合言葉も頻繁に聞かれるようになった。ただし、目標と信頼と協力なくしては頑張れない。

今こそ、日本再興の目標を掲げて、その実現を目指して協力する日本社会の長所を活(い)かしつつ、市場とも両立できるという新しい形のコミュニティを構築し、日本復活の推進力にすべきである。(まるお なおみ)

source: <http://sankei.jp.msn.com/affairs/news/110525/dst11052503070002-n1.htm>

by *Latex* to pdf